

# 広島市

## 教材の開発と活用による道徳教育の中身づくりの推進

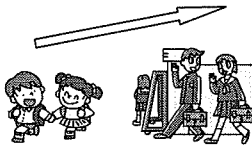
－規範性をはぐくむための教材・活動プログラムの開発－

### アピールポイント

本市教育委員会は、平成20年・21年度の2カ年をかけ、大学関係者や小中学校関係者からなる「心の『め』プロジェクト会議」を開催し、児童生徒が善悪を判断し、実践するたくましい自律心（規範性）を身に付けることができるよう、道徳の授業と教科や特別活動等と関連付けた教材・活動プログラムを開発しました。

### 教材・活動プログラムの4つの特徴

小中学校9年を見通した内容



体験活動などを効果的に活用



自然体験活動等との関連

社会事象や実話等感動を覚える教材



地域教材や実話資料

きまりの意味を深く考えさせる学習展開



本プログラムは、児童生徒の発達段階を踏まえ、「法やきまりの遵守」、「社会生活上のルール、公德心」、「正義、公正・公德心」、「正義、公正・公平」、「集団生活の向上、役割・責任」の4領域、三十プログラムから構成されており、「社会事象や実話等感動を覚える教材」、「小中学校9年間を見通した内容」などの特徴があります。

また、道徳の授業で使用する教材は、広島市の児童生徒の実態を基にした内面的な葛藤のある教材や地元のスポーツ選手、社会に貢献した偉人を取り上げた教材を開発しており、魅力的で、きまりやマナーの意味を深く考えることができる内容となっています。

さらに、各プログラムには、活動計画や道徳の授業で使用する教材や、学習指導案、板書計画、ワークシート等を掲載し、活用しやすいよう工夫しています。

### リーディング校の指定について

今年度は、広島市内の公立小・中学校計十八校を「規範性をはぐくむ教育リーディング校」に指定し、公開授業研修会の開催等を通して、全小中学校での実施に向け、教材・活動プログラムの普及を図っていきます。

